



岡山大学法学部だより



※ 本メールは登録された方におのみお送りしています

第 73 号(2013 年 6 月 28 日発行)

発行：岡山大学法学部 学部長室

この季節、あじさいがきれいですね。

目次

- 上海便り ～中国文化と西洋文化の薫る華東のキャンパス～
- 最近の話題

-
- 上海便り ～中国文化と西洋文化の薫る華東のキャンパス～
-

第 2 回：長寧校区（主に大学院の教育）の紹介

長寧校区は上海市万航路 1575 番にあり、現在、主に大学院生を教育しているところです。ここは、上海市の蘇州河畔に位置し、交通至便にして、風光明媚なところです。この場所は悠久の歴史を誇る中山公園を背にし、喧騒を避けた上海では珍しく閑静な場所です。キャンパス内の建築物は中国と西洋の風貌を備え、古色豊かな趣を漂わせており、100 年余りの歴史があります。その中の四合院式の韜奮ビル（卒業生の鄒韜奮氏を記念して命名された）、古く神秘的な時計台、中国と西洋の様式が相半ばする紅樓図書館などの建物群がまるで一幅の濃淡の水墨画を見るようで、帰るのも忘れさせるほど人を魅了し、心をさわやかにさせ、旅行者の記念撮影場所としての絶好のロケーションでもあります。キャンパス内は古木が空高くそびえ、草花が生い茂っております。巨大なアオギリ、芳しいモクセイ、優雅なハクモクレンなどがキャンパスに生氣と静寂をもたらし、各種の鳥たちを引きつけ、また、そこでは猫などが繁殖生存し、これらすべてが華東政法大学キャンパス内を明るく美しい光景として作り出しております。このようにしなやかで美しい景観の中を散策すると、躍動する生命を感じ、幸せに浸ることができます。晴れた日には、日光に向かって大きく伸びをし、日の光の洗礼を浴び、雨天には、長い回廊に沿って静かに散策し、雨の滴る音を聴きながら、心を癒すことができます。

このキャンパスには、運動、フィットネスの場所として、テニスコート、バトミントンコート、卓球場などの娯楽・レジャー設備も整っております。

また、長寧校区には、博士学位授与権（法律学）の機構として、国際法、法制史、経済法、刑法などの博士学位と修士学位の授与権および経済学、政治学、マルクス主義理論、管理学などの修士学位の授与権を有しております。

現在、法学博士課程の大学院生は 270 人弱、法学修士課程の大学院生は 2300 人余り、法律修士専門課程の大学院生は 1000 人強および在職修士課程大学院生は 820 人弱で、大学院生規模は総計約 4200 人弱です。

ここには 2 つの図書館があります。その一つ紅樓図書館はかなり古く主に外国の定期刊行物や文献が保管されております。一方、新しい図書館は別館と本館に分かれており、ここには法律、文学、歴史などの各種図書と新聞雑誌を貯蔵し、学生の学習に供しております。また、図書館には電子閲覧室も備えられ、電子図書の検索に便宜を提供しております。韜奮ビルや新教ビルには多数の自習教室があり、学生の学習と研究作業に便宜を図って降ります。

現在、アメリカ、ヨーロッパなど外国からの大学院留学生を受入れるほか、香港・マカオ・台湾地区への大学院留学生も募集しております。このように、国際的にも積極的な交流を進めております。

法学部教授 張 紅

（中国の固有名詞で日本語にないフォントが使われている関係で、文字化けする場合があります。ご了承ください。）

○ 最近の話題

☆岡山大学法学会総会・講演会が開催されました。

6月27日、文法経26番教室で法学部と岡山大学法学会の合同講演会が開催されました。講師はつくし法律事務所（京都・東京）所長の竹下義樹弁護士、演題は「弁護士を生きる：なぜ私は弁護士をめざしたのか」でした。

竹下弁護士は1951年石川県のお生まれ。中学生時代に外傷性網膜剥離で完全失明。点字教科書などで勉強して20歳で龍谷大学法学部に入学。司法試験をめざされました。しかし、当時国は盲人に司法試験の門戸を閉ざしており、竹下さんは、まず点字による司法試験受験を認めるよう法務省と交渉するところからその法律家としての歩みを始められました。

その努力が実を結んで1974年には点字の六法も作られるようになり、竹下さんは盲人として初めて司法試験に合格されます。その後は、弁護士として一般事件はもとより、障害者の権利向上や福祉の問題にも熱心に取り組み、現在は国や日弁連の委員も多数引き受けておられます。また、忙しいお仕事の傍らスポーツでも活躍、なんとロッククライミングやヒマラヤ登山、さらにはモンブラン（ヨーロッパ最高峰）の氷河でスキー滑降までトライされています。

竹下さんはユーモアも交えながらその弁護士人生を熱く語られました。まさに岡山大学白熱教室。定員400人の26番教室を通路にまではみ出して埋め尽くした学生や教員は、身を乗り出すようにして熱心に講演に聴き入っていました。

-
- ・本メルマガは、毎月2回程度配信しています。
 - ・法学部の詳細情報に関しては、HPも併せてご覧ください。
法学部 HP <http://www.law.okayama-u.ac.jp/>
 - ・本メルマガには返信なさないようにお願いします。
 - ・本メルマガの登録・解除は、以下のURLにてお願いします。
<http://www.law.okayama-u.ac.jp/local/mail/>
 - ・ご意見・ご感想は、法学部 情報委員会 joho-mailmaga@law.okayama-u.ac.jp まで。